

初日

オリエンテーション

留学生を温かく迎えてください

1. 家族を紹介

家族の名前だけでなく、何と呼んで欲しいかも伝えましょう。

2. 家の中を案内

案内しながら家庭での生活の仕方を具体的に説明してあげましょう。

- ・ トイレ、洗面所の使い方 使っていない時にドアを閉める/開けておく等
- ・ お風呂の入り方
- ・ 布団の使い方、上げ下ろし
- ・ 台所、ダイニングルーム 座る場所、使う食器、冷蔵庫の利用の仕方等

3. 生活のルールを確認

お互いに戸惑うことなく快適に生活できるよう、ルールをしっかりと確認しておきましょう。

- ・ 入浴の順序、朝のシャワー、洗面所の使用時間
- ・ 食事の時間
- ・ 就寝、起床の時間
- ・ 洗濯について
- ・ ごみの出し方
- ・ PC、インターネットの使用
- ・ 門限、帰宅時間を変更する際の連絡
- ・ 緊急の場合の家族への連絡方法
- ・ その他

2日目以降

日本での生活

家族の一員として接しましょう

1. 食事

ご家族の食事を一緒に頂くというのが原則です。但し、宗教上の理由やアレルギーなど生理的理由で食べられない物があることもありますので、まずそれを確認し、考慮してあげてください。(来日前に学校から配布される個人の調査票に記載されています)

2. 言葉

主に日本語を学んでいる生徒達ですので、日本語を使うことも来日の目的のひとつです。できるだけわかりやすい日本語で会話してあげてください。でも、日本語のレベルは各自まちまちですので、英語が必要になる場合もあると思います。そんな時は国際生であるホストブラザー、ホストシスターの活躍に期待しましょう。なお、わかり易い日本語のこつは、語尾を省略せず、はっきりと話すことです。「いつご飯にするう？」よりも「いつご飯を食べますか？」のほうが留学生にはわかり易いのです。

3. 通学

基本的にはホストブラザー、シスターとともに通学します。交通費は自分で負担します。パスネット/スイカの買い方など、手伝ってあげてください。また、一人で帰る必要が生じる場合もありますので、早めに一人でも家に帰れるように、電車の乗り換えの仕方、道順、電車の種類の区別などを教えたほうがよいでしょう。

4. お弁当

登校する日はお弁当の用意をお願いします。用意が困難な場合は、ホストファミリー・サポーターに依頼することが出来ますので、遠慮なくPTA 国際交流委員にご連絡ください。また、学校での行事などの関係でお弁当が必要でない日もありますので、事前にスケジュールを確認してください。また、お弁当箱についてはもって帰って来るように伝えましょう。

5. 電話

留学生が海外に電話する時の費用は、留学生が負担するのが原則です。KDDI スーパーワールドカード PLUS TEXT というプリペイドカードを使うと、自宅の電話、公衆電話(色々なタイプの公衆電話があります。使えるものを、また使い方を教えておきましょう)、友達の携帯電話から、カード度数分だけ国際電話をかけることができます。その他、コ

レクコールで先方に通話料金を負担してもらう方法、料金通知サービスで通話後すぐに料金をお教えてもらう方法もあります。詳しくは5ページをご覧ください。

6. 休日の過ごし方

まず日本の文化的、歴史的な名所を見せてあげられるでしょう。でも、必ずしも人気の観光スポットに連れて行ってあげなければならないわけではありません。家族と一緒に近所を散歩したり、スーパーをのぞいたりして、日本人の生活ぶりを見るのも楽しいものです。ホストファミリー・サポーターに休日のお世話をお願いすることも出来ますので、ご希望の際はPTA国際交流委員にご連絡ください。なお、学校の友達と外出の約束をしている場合もありますので、事前に予定を確認しあってください。

7. 病気・怪我

留学生は皆、海外旅行傷害保険に入っていますので、病気や怪我で病院に行ったり、盗難に遭ったりした場合は保険でカバーされます。病院に行った場合は前払いが原則で、後でかかった費用の全額が返金されますが、その場で全額を留学生自身が支払わなければなりません。診療を受けた後、病院等で発行された医療費、薬代の領収書は帰国後本人が保険金請求をする際に必要になります。また必ず国際高校の担当教師に連絡してください。

8. お金のこと

本人の希望による外出は原則的に本人が費用を負担します。外出の際は、「〇〇円くらいかかりますよ」と伝えてあげてください。「お金がない」という留学生の言葉に負担する義務を感じる方が多いようですが、多くの場合、そのような期待は本人にはありません。費用負担については率直に話し合うことがトラブルの防止につながります。また、現金の貸し借り、立替は絶対にしないようにしてください。

9. 買い物

学校から近いこともあり、原宿などに買い物に出かける留学生が多いようです。お店によっては言葉巧みに高額な買物をさせるところもあります。事前に国際生から情報を得ておくといいでしょう

秋葉原については、来日前から話を聞いていて、行くのを楽しみにしているという留学生もいます。秋葉原オフィシャルサイト(<http://e-akihabara.jp/ja>)で地図やお店情報をチェックできます。免税にしてもらうにはパスポートの提示が必要です。また免税の対象となるのは同一日、同一店舗での買い上げが10,001円 以上の場合です。

10. 困ったときには……

悩まずに、まずPTA国際交流委員にご連絡ください。問題解決のために協力いたします。

最終日

楽しい日本の思い出を胸に

笑顔で送り出してあげましょう

1. 荷造り

忘れ物はありませんか。おみやげで荷物が増えていることでしょう。飛行機に載せられる荷物(機内持ち込み手荷物、受託手荷物)には各航空会社が設定した重量制限がありますので注意してください。(例:カンタス航空の場合、機内持ち込み7kg, 受託20kg)

2. 航空券・パスポート

航空券は前日のうちに確認しておきましょう。スーツケースの荷物の中に紛れて行方不明になるなどということがないように。パスポートも大丈夫ですね。

3. おみやげ

おみやげを持たせなければならないということはありません。もしご厚意で持たせてくださる場合には、軽いもの、小さいもの、壊れにくいものにしてください。

4. 帰国後

留学生が帰国した後にトラブルなどが発覚した場合には、国際高校の担当教諭にご連絡ください。

国際電話のかけ方

A. プリペイドカード

KDDIのスーパーワールドカードPLUS TEXTというプリペイドカードを使用すると、自宅の電話、公衆電話、友達の携帯電話から、カード度数分だけ国際電話を掛けることができます。カードはほとんどのコンビニで購入できます。1,000円、3,000円、5,000円、7,000円のカードがあります。

詳しくは http://www.kddi.com/phone/denwa/card/kddi_super_world/ をご覧下さい。

1. 購入したカードの裏面の マークのスクラッチ部分をコインで削り取ります。そこにカード番号が印刷されています。
2. 『0055』をダイヤルします。
3. 『プップップ・・・』という音が聞こえてきたら、カード番号をダイヤルします。
4. 続いて、相手国の国番号+(0を除いた)市外局番+電話番号 をダイヤルします。

注意： 緑色の公衆電話から利用する場合は、コインまたは普通のテレホンカードを入れてから、上記の操作を始めてください。通話終了後、コイン/テレホンカードは戻ってきます。なお、ピンクの公衆電話は使用できません。

B. コレクトコール

通話の相手方に料金が請求される通話です。オペレーターを通した通話となります。

『0051』をダイヤルします。KDDIのオペレーターが出るので、先方の電話番号とコレクトコールを希望する旨を伝えます。

オペレーターが先方の通話料支払いの了承を得ると電話がつながります。

C. 料金通知サービス

『0052』をダイヤルしてから、相手国の国番号+(0を除いた)市外局番+電話番号 をダイヤルして通話します。通話終了後、受話器を置いてお待ちください。折り返しKDDIから通話時間と料金の連絡がはいります。